



令和6年度 コミュニティ・スクール 新座市立八石小学校 グランドデザイン

【目指す学校像】「期待の登校、充実の活動、満足の下校」

ができる学校

- ① 教職員が範を示し、自らも学び続ける学校
- ② できる喜び、分かる喜び、学ぶ面白さが味わえる授業を展開し、確かな学力を身に付けられる学校
- ③ 保護者や地域から親しまれ、認められ、信頼される学校
- ④ 落ち着きと美しさ、活気のある学校

【目指す教師像】「初志貫徹、有言実行、率先垂範、英知結集」

できる教師

- ① 子どもの成長を第一に考え、行動する教師
- ② 明確な目標を立て、常に授業改善に真剣に取り組む、学力向上に結びつける教師
- ③ 共通理解・共通行動・共通協働する教師
- ④ 心身共に健康で、自らのよさを表現して子どもに関われる教師

【学 校 教 育 目 標】

なかよく

他者を思いやり協し、
感謝の心を育てる

かしこく

学びの面白さを味わわせ、
問いをもち追究し、表現する力を育てる

たくましく

困難に立ち向かい、目標に向かって
粘り強く行動できる心と体を育てる

【八つの石(意志=基盤)】 教育実践のために教職員が持つべき8つの志

- 1 初志貫徹 教師を志した時(動機、理想等)を忘れず、今もぶれずに信念を常に持ち続け、職務に当たる。
- 2 率先垂範 教職員は児童の人生に大きな影響を与える存在。その指導をする立場がまず児童に範を示す。
- 3 有言実行 明確なゴールが必要で、説明責任も負う。自らのよさや可能性を生かし、目標をしっかり立て、生きる力等をつけるための教育活動を実践する。
- 4 現状打破 現状維持は後退に等しい。小さな変化を求め、大きな変化につなげるため、新しい学校様式に沿った教育活動等を実践する。
- 5 自他尊重 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる学校環境をつくり、児童・教職員の態度や行動で表す。
- 6 凡時徹底 当たり前のことを当たり前に行い、学校全体で他校とは違う誇れる取組として徹底的に実践する。
- 7 英知結集 教職員個々の持っているすぐれた知恵や才知を集めて一つにして、組織で対応する。
- 8 知行合一 研修等で新しい知識・技能を得たら、自らが教育活動において実践・還元する。

【目指す児童像】「なかよくかしこくたくましく」を

兼ね備えた児童

- ① あたりまえのことを、進んでできる子
- ② 自他の命を大切に、相手意識をもって接することができる子(なかよく)
- ③ 目の前の事象に問いをもち、進んで学び、表現できる子(かしこく)
- ④ 困難に向き合い、目標に向かって粘り強くがんばる子(たくましく)

【目指す授業像】 対話力を高める授業

- ① 学習への意欲や関心を喚起することができる授業
- ② 児童が「できる喜び、わかる喜び」を実感できる授業
- ③ 学習規律が徹底された授業
- ④ 目標達成のために対話がある授業

今年度の一定の到達(成果)ライン【着地点】

- ☆ 学力(全国・県学習状況調査、校内学力テストにおける目標設定)の伸び【子どもの学力の保障】
- ☆ 『対話力を高める研究』研究発表会 取組・授業公開の成功 【教員の資質・指導力】
- ☆ 学校有用感(「八石小はいい学校」)の高まり 【学校・家庭・地域での共通項・誇り】

〈学校のキャッチフレーズ〉

『なかよく かしこく たくましく 学校有用感あふれる八石小学校』

自己肯定感とは、自分を肯定する気持ちであり、自己有用感とは、「有用」とあるように、自分が人の役に立っているという気持ちを指す。子どもたちにそのような気持ちを高めるとともに、教職員、児童、保護者、地域の方々が学校に対して自信、誇りとして持ち続けることができるように、学校のよさを認められるようにする、自信・誇りを持ち、存在価値をみんなで共有していく(学校有用感)。

【学力向上】

- ① 学習規律の確認と徹底
- ② 1時間ごとのわかる授業の展開と工夫
- ③ 基礎基本の定着を図る学習指導の工夫と計画的・継続的な個別指導
(コバトン問題集・キュービナの活用)
- ④ 一人一人に合ったタブレット端末等の活用
(ロイロノート全学年での活用)
- ⑤ 算数専科との効果的な指導の実施
(TT・少人数指導)
- ⑥ 高学年教科専科の導入(算・理・音・家)
- ⑦ 4年生以上の辞書の積極的活用
- ⑧ 読書活動の推進(必読図書の推奨)
- ⑨ 校内研究により指導方法の改善(対話力)研究発表会の開催(11月6日)
- ⑩ 校内学力テスト実施(1月)、基礎基本の徹底検証
- ⑪ 英語・外国語活動の推進

【豊かな心の育成】

- ① 生徒指導・教育相談の推進
(組織対応の重視)
- ② 特別支援教育の推進
(個々のニーズに応じた対応、ユニバーサルデザインの観点、多様な人材の活用)
- ③ 道徳教育の充実(考え、議論する)
- ④ 人権教育の推進
「あおいこころをみせる」 あ:あいさつ
お:おもいやり い:いっしょうけんめい
- ⑤ 基本的生活習慣の徹底
- ⑥ 体験活動の充実
(学校農園の活用、外部機関との連携)
- ⑦ キャリア教育の充実
- ⑧ 異年齢集団による活動の充実
- ⑨ 学校環境美化の推進
- ⑩ 校長室からの発信(毎月の取組)

【たくましい児童の育成】

- ① 新体力テストの結果の分析と対応
- ② 食育の充実
(早寝早起き朝ご飯の推進、食育指導、栽培・収穫・食する一連の取組)
- ③ 校内外の体育的行事の推進及び積極的参加・奨励
- ④ 健康教育の充実(保健指導の徹底)
- ⑤ あたりまえのことをあたりまえにできる子の育成
(挨拶・感謝、言葉遣い、時間を守る等)
- ⑥ 民間委託による水泳指導(5~6月)
- ⑦ 新たな日課表の実施

本年度の重点・取組

【教員の資質向上】

- ① 教育公務員としてのあり方
(根拠ある判断行動、有言実行)
- ② 教師としてのあり方
(情のある指導・判断、率先垂範)
- ③ 社会人としてのあり方
(一般常識を兼ね備える)
- ④ 教員の授業力向上(一人一研究授業)
- ⑤ キャリアステージにおける研修、主任研修会・研究発表会への積極的参加
- ⑥ 管理職参観の授業公開実施(年2回)
- ⑦ 自己評価シートへの具体的・実践的な目標設定
- ⑧ 働き方改革の見直し
(ノー残業デー 金曜ノー会議 18時電話19時教室作業19時半最終退勤)
- ⑧ 倫理確立委員会での取組、実施

【コミュニティ・スクールの推進・強化】

- ① 学校運営協議会の承認に基づく学校経営
- ② 学校応援団・PTA・外部機関との連携強化
- ③ 学校からの積極的な情報提供
(学校だより等の発行、毎日のHP更新、報道機関への情報提供、スクールメールの活用等)
- ④ 五中ブロック・幼稚園・保育園、いきいき広場・ココフレンド・学童との連携
- ⑤ 学校評価の活用
- ⑥ 学校有用感達成状況の検証
(12月実施)



八石マスコットキャラクター「はっとりぼん」